

メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会の開催を心からお祝い申し上げます。また、「核兵器のない世界」を目指し、様々な平和運動に取り組んでおられる貴委員会の皆様方の御尽力に対し、深く敬意を表します。

水戸市におきましても、昭和60年7月に核兵器廃絶平和都市を宣言したほか、平和記念館の設置をはじめ、市内の児童生徒による平和作文コンクールや広島市への平和大使派遣など、多様な事業を通して、風化しつつある戦争の記憶や平和の大切さを広く市民に伝え、平和意識の醸成に努めております。

本年は終戦から75年の年となるとともに、広島市、長崎市に原子爆弾が投下されてから75年の節目の年ともなります。世界で唯一核兵器による被害を受けた戦争被爆国の国民として、核兵器の悲惨さと平和の尊さを次代に伝えつなげていくことは、重要な使命であります。

ここに、核兵器のない世界を実現し、恒久平和な社会を築くために、皆様の活動が人々の心に訴えかけ、平和への想いが広がることを願うとともに、原水爆禁止2020年世界大会の御成功をお祈り申し上げます。

令和2年7月20日

水戸市長 高橋 靖

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止 2020 年世界大会にご参加の皆さまへ

核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた皆さまの地道な活動とたゆまぬ努力によりまして、本年も、原水爆禁止 2020 年世界大会が開催されますことに対し、心から敬意と謝意を表します。

2017 年 7 月 7 日に、国連で核兵器禁止条約が採択され、核兵器廃絶に向けての歴史的な第一歩を踏み出しました。また、本年 8 月は広島・長崎への原爆投下から 75 年の節目にあたり、唯一の被爆国である我が国では、被爆者の高齢化が進む中、「核兵器のない世界」の一刻も早い実現に向け、各方面での取組が益々重要と考えます。

つくば市では、平成 2 年に「非核平和都市宣言」を行い、非核平和の実現に向けた市民意識の醸成に取り組んでおります。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりましたが、次世代の子供たちへ戦争や核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝えるため、毎年小学生を対象にした埼玉ピースミュージアムの施設見学や、長崎市開催の「青少年ピースフォーラム」に市内中学生 6 名を派遣しております。

また、悲惨な被爆の実態を風化させることのないように、長崎・広島の原爆資料を展示する平和パネル展を実施し、市民へ広く平和への啓発を行っております。今後も核兵器廃絶と恒久平和の実現に向け、更に努力してまいります。

結びに、2020 年原水爆禁止世界大会のご成功並びにご参加の皆さまの更なるご発展とご健勝を心からご祈念申し上げます。

令和 2 年（2020 年）7 月

つくば市長 五十嵐 立青

核のない平和な世界を人類は願っています。

人類が地球の未来を左右します。

運動と大会の成功をお祈りします。

茨城県常総市長 神達 岳志

メッセージ

我が国への原爆投下から75年の節目に
世界で唯一の被爆国として
原爆の恐ろしさと被爆者の声を世界中に訴え
平和を望む人々と手を取り合いながら
核兵器のない国際社会の実現に
一層力を尽くす必要があると考えます
坂東市でも「非核平和都市宣言」を表明し
核兵器の廃絶に向け取り組んでおります

「原水爆禁止2020世界大会」の成功と
核兵器廃絶 そして世界恒久平和を願う人々の輪が
一層広がりますことを祈念申し上げ
私のメッセージといたします



令和二年八月吉日

茨城県坂東市長 木村 敏文

原水爆禁止世界大会実行委員会 御中

「原水爆禁止 2020 年世界大会」(オンライン)が開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

日頃より、皆様方には、核兵器廃絶と世界平和のため、本大会をはじめとする多彩な活動を推進されていることに、深く敬意を表します。

本大会が、世界中の誰もが平和で公正な生活を送ることができる社会の実現へ大きな一歩となるとともに、皆様方の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

令和2年8月

小美玉市長 島田 穰一

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

核兵器廃絶と世界平和の実現に向けた取り組みに
対し、心から敬意を表します。

原水爆禁止二〇二〇年世界大会（オンライン）は、
「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界の
ために——人類と地球の未来のために」をテーマに開
催され、広島・長崎両市への原爆投下から七五年の節
目にあたる、たいへん重要な大会であります。

新型コロナウイルスに対する警戒が続いている状
況ではありますが、本大会がこれまで以上に力強く、
そして世界のより多くの人々に発信する大会として、
成功されますようご祈念申し上げますとともに、皆様
の益々のご活躍とご健勝をお祈りいたしまして、メッ
セージと致します。

令和二年八月

茨城県かすみがうら市長 坪井 透

原水爆禁止 2020 年世界大会メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会オンライン開催にあたり、メッセージを申し上げます。

世界の真の平和と安全は全人類共通の願いであります。

ことし 2020 年我が国は、世界で唯一の核被爆国になって 75 年、惨禍を再び繰り返さないよう核兵器廃絶を世界に提唱し得る立場にあります。

核兵器廃絶を共通の目標として、世界中の英知を結集して参りましょう。

美浦村は、人類共通の願いである「核兵器のない平和な世界」の実現に向け、全国の非核平和宣言自治体とともに戦争の悲惨さと平和の尊さを伝え、恒久平和を次代に引き継ぐための活動を行っています。

原水爆禁止 2020 年世界大会が盛会に終わり、今後核兵器のない平和で公正な世界になることを、心から願うものであります。

茨城県美浦村長 中 島 栄

「原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）」メッセージ

このたび、原水爆禁止 2020 年世界大会が開催されますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

今年は、広島・長崎原爆投下から 75 年の節目を迎えます。原爆により消し去られた街は復興しましたが、人々の心や体には今もなお癒えぬ傷が残っています。

また、3 年前、核兵器の開発や保有・使用などを法的に禁止する「核兵器禁止条約」が国連交渉会議で採択されましたが、いまだに条例への批准が 50 か国に達せず、発効に至っていません。今後、条例の早期成立と非保有国を中心に核兵器禁止・廃絶の機運が高まることを願ってやみません。

本市は、世界の恒久平和を強く希求し、「非核平和都市」を宣言しています。私たちは、世界で唯一の被爆国として、戦争がいかに悲惨であるかを後世に伝えていくとともに、原爆の恐ろしさを風化させることなく、核兵器廃絶の声を継続していく責務があります。

核兵器のない平和な世界の実現を目指して、大会のご盛会とご参会の皆さまのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和 2 年 8 月

行方市長 鈴木 周也